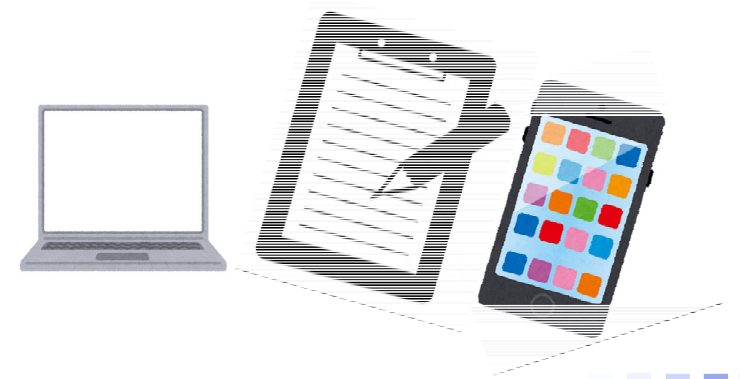


2020年3月 神奈川大学卒業生調査の実施結果について

本学では2020年3月～4月に卒業生調査を実施し、2020年3月卒業生3,609名の33.7%にあたる、1,217件の回答をいただきました（うち有効回答1,179件）。

多忙な時期にも関わらず多くの卒業生にご協力いただきましたことに感謝するとともに、調査結果につきまして、抜粋してご報告いたします。

ご意見については、学内で共有し、確実に改善に活かしてまいります。



Q 以下の項目は、大学生活を通じてどの程度身についたと思いますか。

「大学で身についた」上位5項目

- 第1位 組織や社会のルールを守れる (48.3%)
- 第2位 お互いの意見を尊重できる (43.6%)
- 第3位 人間関係を築き、協働できる (39.9%)
- 第4位 社会人として果たすべき役割や責任を理解している (36.4%)
- 第5位 知識や情報をもとに、自分の考えや意見をもつことができる (34.5%)

Q 以下の項目は、大学生活を通じてどの程度身についたと思いますか。

「大学で身についた」下位5項目

- 第1位 日本語以外の言語を使って書いたり、会話したりできる (12.6%)
- 第2位 情報通信技術 (ICT) を運用できる (13.2%)
- 第3位 ボランティア活動や地域活動に協力している (13.6%)
- 第4位 知識や技能を応用し、提案・企画ができる (18.7%)
- 第5位 量的なデータを分析し、物事を把握できる (19.5%)

Q 本学に対する**現在の評価（満足度）**として、あてはまるものを選んでください。

「満足している」上位5項目

- 第1位** 図書館など自主学習用の施設や環境が充実（51.9%）
- 第2位** 学内ネットワーク設備やコンピュータの施設・設備が充実（42.8%）
- 第3位** 学食などの飲食施設が充実している（39.5%）
- 第4位** 学生生活が楽しめる（36.6%）
- 第5位** 学びたい学問が学べる（31.6%）

Q 本学に対する現在の気持ちとして、あてはまるものを選んでください。

(1) 本学を卒業したことに満足している

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

		N	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う・計	
18年3月卒業生	回答者全体	169		38.5		50.3	8.3	3.0	88.8	
19年3月卒業生	回答者全体	794		50.9		39.7	6.5	2.9	90.6	
20年3月卒業生	回答者全体	1,179		56.6		35.1	4.5	2.0	1.8	91.7

91.7%が満足

(2) 本学の学部・学科で学んだ意義があった

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

		N	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う・計	
18年3月卒業生	回答者全体	169		38.5		47.3	11.2	3.0	85.8	
19年3月卒業生	回答者全体	794		45.8		41.2	8.8	4.2	87.0	
20年3月卒業生	回答者全体	1,179		49.0		39.3	6.8	3.1	1.8	88.3

88.3%が意義があった

※いずれも「そう思う」「ややそう思う」の合計

Q 学修以外に在学時に取り組んだことをすべて選んでください。

第1位 アルバイト (84.1%)

第2位 学内のサークル・同好会活動 (35.4%)

第3位 インターンシップ (34.0%)

第4位 部活動 (20.3%)

第5位 海外留学 (12.4%)

前年度調査に比べて、部活動や
インターンシップに取り組んだ学生が増加

【その他の選択肢】 委員会活動、学外のサークル・同好会活動、文化祭、その他学内行事、ボランティア・NPO活動、その他

Q 本学で大学生活を送ってよかったと感じたことについて教えてください。

海外プログラム、語学プログラムが充実していたのがとてもよかった。普段の授業においても留学生と気軽に話す機会が多く、先生との距離も近かった。

先生との出会いからたくさん見識が広がり、世の中の常識を疑う習慣が付き、問題提起を深める力がついた。

研究設備は非常にハイレベルでやりたいと思った実験は学内ですることができた。研究者を志すものとして学ぶことがたくさんあった。

副専攻が充実しており、就職の幅が非常に広がった。

日常生活に潜む、契約やルール、陥りやすい落とし穴などを見つけ、いかに対応すればよいかを思考し、答えを見出せるようになった。

清掃してくださるスタッフの方に感謝したい。

ゼミの先生から就職先のアドバイスをもらい希望通りの会社に入れ、部活動では一生の仲間に出会えた。

面白い授業があり、自分で選択し学ぶことができ、知識と興味の幅を広げることができた。

学びを通じた成長、総合大学ならではの視野、充実した設備、
教員や友人との出会い、語学・留学プログラムなど

Q 本学がどうであればより魅力的な大学になると思いますか。

少人数の参加型授業、予習したことを発表する授業など、座学で一方的に受け取るだけでなく、発信・アウトプットできる授業が増えたほうがいい。

学科が異なる人、学年が異なる人とのつながりを増やすこと。学生同士の交流を増やすことで学びを深める環境があること。

職員の方の対応がつめたく、頼りづらかったため、改善すべきだと思います。

受講人数に合わせた教室を提供すべき。

取得単位数の確認や卒業認定の報告を、もう少し前もって知らせてもらえるシステムにしてほしい。

カフェや食事ができる場所がもっとあれば、いろいろな人が交流できる場所にもなり、勉強ができる場所にもなる。

キャリアサポートの面ではもっとOBOGと交流したかった。悩んだとき気軽に相談できる希望職種のOBOGがいれば心強かったと思う。

アクセス向上、教室等の施設・設備、学部学科間の連携強化、
語学や留学制度の充実、窓口対応に対する改善要望など

● いただいたご意見についての対応・改善策 ●



授業やキャリアサポートなどでもっと企業とのパイプがあればよい。

みなとみらいキャンパス開設を契機として、近隣にあるグローバル企業や地元企業、自治体等との連携をさらに深め、授業やインターンシップ、起業などでもその連携を活かせるように検討を行っていきます。



窓口での事務職員の対応を統一し、向上させてほしい。

引き続き厳しい声をいただいていることを真摯に受け止め、窓口対応に関する研修を充実させるなどして、対応の統一と改善をはかります。また、窓口に来なくても疑問が解決したり、提出書類を電子化したりするなどのシステム導入を進め、利便性を向上させます。



● いただいたご意見についての対応・改善策 ●



抽選科目で受講できない授業が多い。

希望者の多い授業の抽選時に、同じ学生が重複して外れることのないよう、新システムでは自動チェックを行えるようにしています。学生生活実態調査でも同様の意見をいただいていることから、開講形態、抽選のあり方については、引き続き検討を行っていきます。



勉強など授業の合間の時間を有効に使えるよう、フリースペースをもっと充実させてほしい。

みなとみらいキャンパス開設や今後のキャンパス各施設の改修に際しては、フリースペースやカフェを多く設けるなど、学修や学生同士の交流に活用できる場所を増やしていく予定です。

